

【KARRIMORより】「Mt. TAKAO BASE CAMP」にてリュックサックのレンタルをスタート

カリマーで人気のモデルを気軽に試せます



この度、英国発祥のアウトドアブランド「KARRIMOR (カリマー)」は、「Mt. TAKAO BASE CAMP(高尾ベース)」にてリュックサックのレンタルを、期間限定でスタートします。

「Mt. TAKAO BASE CAMP」は、土日祝日は早朝からオープンしており、山好きなスタッフによるアドバイスが聞ける、山好きにはおすすめな施設です。
、2025年11月1日(土)～11月30日(日)の期間限定で、カリマーで人気のモデルを体感いただけます。

レンタルする製品は全部で5種類。

■ cleave(クリーブ) 20, 30

リュックサックを下ろすことなく行動食の補給や給水をスムーズに行えるユーティリティショルダーハーネスが特徴的で、収納力と操作性に長けています。

荷物の出し入れが容易なパネルローディングタイプの20Lサイズと、容量調整が可能なロールトップタイプの30Lをご用意しています。

■ ridge(リッジ) 30+

豊富な機能を備え様々な山行スタイルに対応するカリマーの定番中型リュックサックです。背面システムには、3Dバックパネルを内蔵し、立体構造のヒップベルトと共に高いフィット感と安定性を実現しました。

■ tatra(タトラ) 20

小型ながら雨蓋とパッド入りのヒップベルトを備え、長時間のトレッキングでも安定したフィット感を提供します。ヒップベルトポケットや雨蓋ポケットなど、収納ポイントも豊富です。

背面のバックパネルパッドは取り外せる仕様で、手洗いも可能。リュックサックを清潔に保てます。

■ cot(コット) 25

シンプルなデザインながらもポールキャリアやチェストベルト、通気性の高いバックパネルなど、豊富な装備でデイハイクから日常使いまで幅広く対応しています。日々の生活でも使いやすいよう、落ち着いた色味をラインナップしています。リュックサック内部はジッパーで本体を上下2分割でき、パッキングもしやす構造です。

これからの高尾山の綺麗な紅葉を、カリマーのレンタルリュックサックと一緒に、楽しんでみてはいかがでしょうか。
詳細は、下記をご覧ください。

※本プレスリリースに関するデーター式は、下記よりダウンロードいただけます。

[Official Presskit DL URL \(◀click here\)](#)

「Mt.TAKAO BASE CAMP(高尾ベース)」とは



2019年11月1日、高尾山の麓に初の宿泊施設であるMt. TAKAO BASE CAMP(高尾山ベースキャンプ)がオープンしました。京王線高尾山口駅から徒歩3分という好立地であり、これまで日帰りでの観光登山として親しまれてきた高尾山ですが、このMt. TAKAO BASE CAMPの誕生によって、より高尾山域を深く楽しみたい登山者やトレイルランナーの選択の幅が大きく広がるようになります。

施設の1階には、宿泊者だけでなく一般利用も可能なカフェ&バーや、ロッカー&シャワー、レンタルサービスを併設。山でのアクティビティには、考え尽くされた専用のギアを使うことで、その楽しさをより実感できます。また、これらの用具を使うことで、安全の確保やケガの防止にも役立ちます。Mt. TAKAO BASE CAMPでは、様々なアウトドアメーカーの協賛のもと、最新のギアを低価格で体感できます。

レンタル営業時間: 平日/8:00~20:00 土日祝日/7:00~20:00

レンタル料金 : ¥330/1日

※台風や施設メンテナンス等で臨時休業する場合がございます。

※急な天候の悪化や怪我などで20時までのお戻りが難しい場合はお早めにお知らせください。

※レンタル用品の使用中に発生したけが・事故・お荷物の紛失や破損などについては、当店およびメーカーは責任を負いかねます。

安全に十分ご注意のうえ、ご自身の責任でご利用ください。

レンタル製品



cleave 20

600mlサイズのペットボトルが収納できるユーティリティ
ショルダーハーネスが特徴的
荷物の出し入れが容易な
パネルローディングタイプ



cleave 30

600mlサイズのペットボトルが
収納できるユーティリティ
ショルダーハーネスが特徴的
荷物量にあわせてリュックの
容量調整ができるロールトップタイプ



ridge 30+

豊富な機能を備え様々な
山行スタイルに対応する
カリマーの定番中型
リュックサック



cot 25

リュック内部のジッパーで
本体を上下2分割でき、
荷物の整理に便利
デイハイクから日常使い
まで幅広く対応



tatra 20

小型ながらパッド入りの
ヒップベルトを備え、背面
のバックパネルパッドは
取り外せる仕様



カリマーの歴史は、1946年に英國の北西部・ランカシャー カウンティでサイクルバッグメーカーとして創業したことに遡ります。タフで機能的な製品に対する評判は、ほどなくして登山家にも届くこととなり、クライマー向けのリュックサックを手がけるようになりました。ブランドの語源は「carry more」。対象となるフィールドで求められる装備一式を過不足なく運ぶことのできる堅牢性や優れた背負い心地、かつクライミングに対応する機能を盛り込んだカリマーのリュックサックは、クライマー自身の能力はもちろん、新たに對象となるフィールドの可能性を広げました。そして今もなお、新たなフィールドへの挑戦を続けています。

Instagram [@karrimor_japan](https://www.instagram.com/karrimor_japan) Facebook [@karrimor.jp](https://www.facebook.com/karrimor.jp) X [@karrimor.jp](https://www.x.com/karrimor)

【クレジット表記】

欧文 / KARRIMOR 和文 / カリマー

【読者様 問い合わせ先】

欧文:KARRIMOR▲international

和文:カリマーインターナショナル

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-14-17

AMINAKA 九段ビル 6F

MAIL : info@karrimor.tokyo

HP : <https://www.karrimor.jp/>

【本件の問い合わせ先】

カリマーインターナショナル

プレスチーム

TEL : 03-3221-6883

https://user.pr-automation.jp/pr-automation/coverage_request.php?key=agxZNgmcVHFKMPbEfaSx-g%3D%3D